

平成23年9月27日

総合政策課

ダイヤルイン 0742-34-4786

**「奈良マニフェスト」の進捗状況等の公表について**

市長就任後2年を経過した時点での「奈良マニフェスト」の進捗状況を、奈良しみんだより（10月号）に掲載します。

今年度は、外部有識者に進捗状況の評価をしていただき、その概要もあわせて公表します。

（ホームページには、評価者全員の評価結果の詳細とともに、10月上旬に掲載予定。）

**【評価者】（敬称略・50音順）**

- ・ 澤井 勝（奈良女子大学名誉教授）
- ・ 中川幾郎（帝塚山大学大学院法政策研究科教授）
- ・ 新川達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授）

# 「奈良マニフェスト」の進捗状況

市長に就任して2年が経過いたしました。

市民のみなさんのご協力が進めてまいりました「奈良マニフェスト」の平成23年7月末現在の進捗状況をお知らせします。今年度は、外部有識者に評価をしていただきましたので、その概要(評価者1名のコメント、評価者全員の記号評価)もあわせて「10月号奈良しみんだより」に掲載します。

なお、奈良市ホームページには、評価者全員の評価結果の詳細とともに、10月初旬に掲載します。

## 評価者のみなさん (50音順)

澤井 勝さん  
奈良女子大学名誉教授

中川幾郎さん  
帝塚山大学大学院  
法政策研究科教授

新川達郎さん  
同志社大学大学院  
総合政策科学研究科  
教授

記号の説明
「達成済みであると言える」 事業化・実現されており今後も継続できると考えられる。
「順調に進展している」 事業化・実現されているが今後の継続には相当の努力が必要。または事業化・実現されていないが2年経過時点で十分な進捗がある。
「進展はしているが、達成には更なる努力が必要」 進捗は認められるが、更なる創意工夫等の努力が必要。
「検討準備段階」 実現に向け事業に着手はしているが、「進展している」と言えるレベルではなく、検討・準備段階に留まっている。
×「進展が見られない」 事業に着手はしているものの、進展がないに等しい。

## 行政のムダゼロ

マニフェスト項目	総額650億円の大型箱モノ事業を見直します		
進捗状況	大型公共事業全般として、約25億6,800万円の削減をしました。		
	新市建設計画(約300億円)と、クリーンセンター(約350億円)だけにとどまらず、大型公共事業全般を対象に、その必要性を検証し、「必要」なものは規模や内容・発注方法の精査を行っています。平成22年度の保健所・教育総合センターや月ヶ瀬梅の資料館・梅公園建設での削減に加え、平成23年度は市立奈良病院の建替工事等で「徹底した価格競争」と「工事の質」を同時に満たす新しい入札方式を導入したことにより、2年間の見直し効果額は、約25億6,800万円となりました。		
	【担当課】 (集約)総合政策課		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	総合評価落札制度や最低制限価格を設けない入札の導入が、今後どのような効果をもたらすか注目したい。(中川)	
	全評価者分	澤井	大型ハコモノについては、政府が検討すると言った住民投票についても検討されてもよいであろう。
		中川	総合評価落札制度や最低制限価格を設けない入札の導入が、今後どのような効果をもたらすか注目したい。
新川	大型箱モノ事業をすぐに見直すとしたマニフェストからは、2年目の進捗としては、評価できない。		
マニフェスト項目	行政を、「見える化」します		
進捗状況	「職員の職務に関する要望等の記録と公表に関する制度」を実施しホームページで公表を始めました。		
	公職者から一般職の職員が受けた要望等を文書として記録し、その概要、公職者の職名及び氏名を平成23年5月分から市ホームページで公開しています。また、予算編成過程については、市ホームページで公開する事業数の拡大、市長査定結果の査定理由の細分化を図りました。		
	【担当課】 ガバナンス推進課・財政課		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	要綱の制定や、一部予算過程の公開など、順調に進展している。(新川)	
	全評価者分	澤井	公職者からの要望事項の公表は画期的である。予算編成過程の公開も進んでいる。
		中川	予算編成過程の公開は大いに評価する。一方、要綱の精細な検討がまだ必要であること、またその施行は今春からなので、これについては今後の努力を見守りたい。
新川	要綱の制定や、一部予算過程の公開など、順調に進展している。		

マニフェスト項目		不要な事業を廃止・縮小し、37億円の政策予算を生み出します	
進捗状況		事業仕分けなどにより、目標の37億円に対し、2年間で約24億9,600万円の削減をしました。	
		平成21年度、平成22年度に事業仕分けを実施すると共に、その他事務事業の廃止・縮小・節減や新規採用者の抑制による人員削減などにより、平成22年度予算では約14億1,800万円、平成23年度では約10億7,800万円と、2年間で約24億9,600万円の削減をしました。	
		【担当課】 行政経営課・財政課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	公開事業仕分けが、必ずしも正しい評価手法であるとは限らないことは、民主党の事業仕分けでも明らかであり、今後に向けての改善がなお必要である。(中川)	
	全評価者分	澤井	事業仕分けや行財政改革大綱の推進により徐々に効果が出てきているようである。
		中川	公開事業仕分けが、必ずしも正しい評価手法であるとは限らないことは、民主党の事業仕分けでも明らかであり、今後に向けての改善がなお必要である。
		新川	目標額への到達の見込みが厳しくなっている。
マニフェスト項目		天下り根絶。外郭団体は整理統合します	
進捗状況		財団法人統合に向け「奈良市総合財団」を設立。いわゆる「天下り」は禁止しました。	
		外郭団体の統廃合を進め、また外郭団体の経営効率を高めるため、現在18ある外郭団体のうち、3団体を廃止、残る15団体のうち7団体を平成24年4月から「一般財団法人奈良市総合財団」(平成23年8月1日設立)に一本化します。また、退職した市の幹部職員の外郭団体への再就職あっせんについては、今後も引き続き禁止します。	
		【担当課】 行政経営課・人事課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	外郭団体の一部を整理統合する受け皿である総合財団ができたことを評価する。(澤井)	
	全評価者分	澤井	外郭団体の一部を整理統合する受け皿である総合財団ができたことを評価する。
		中川	指針に基づく外郭団体の整理統廃合は、方向としては概ね間違っていないと思う。
		新川	当初実施予定よりは、遅れているが、財団の統廃合が実現できた。
マニフェスト項目		市長の退職金を廃止します	
進捗状況		現市長任期中の退職金(1期3,450万円)を廃止しました。	
		平成22年6月議会に、市長等特別職の任期中の退職手当を不支給とする条例案を提出したところ、市長以外の特別職(副市長等)については認められませんでした。市長の退職金については今期分(3,450万円)を廃止することができました。多選禁止については、任期中の制定を目指して継続的に調査、検討を行っています。	
		【担当課】 人事課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	公約のうち、市長退職金の廃止を実現したことは、大きな踏み込みであったと評価する。(中川)	
	全評価者分	澤井	マニフェストのうち市長退職金の廃止条例が成立していることから。
		中川	公約のうち、市長退職金の廃止を実現したことは、大きな踏み込みであったと評価する。
		新川	2年目の進展が見られない。実現の努力やそれが実らない理由について説明責任を果たすべき。
マニフェスト項目		公用車を大幅に削減します	
進捗状況		就任時728台あった公用車を、2年間で29台削減し、699台としました。	
		平成21年8月1日時点で728台(平成21年4月1日時点では724台)あった公用車を、「廃車時に補充をしない」方法のほか、「補充が必要な場合は他課から車両を移管する」などの効率的な公用車の配置・運用を図ることで、平成23年7月31日時点では699台となり、全体として、2年間で合計29台の公用車を削減することができました。	
		【担当課】 (集約)総合政策課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	なお不要な公用車の削減を期待する。(澤井)	
	全評価者分	澤井	なお不要な公用車の削減を期待する。
		中川	2年間で約4%の削減をされた努力を評価する。
		新川	実質的になら進んでいないというのが成果からの見解である。

マニフェスト項目		職員の人数、人件費を見直します	
進捗状況		正規職員を137人削減し、住居手当の見直しをしました。	
		正規職員については、平成21年度と比較して、平成22年度で83人、平成23年度で54人、合計137人の削減を行いました。手当の見直しについては、持ち家に係る住宅手当を廃止することとしました。(平成22年4月から経過措置を設け平成24年4月以降廃止)	
		【担当課】 人事課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	一部着手済みであるが、部分的な成果にとどまっている。(新川)	
	全評価者分	澤井	2年間で137名の正規職員減を評価する。
		中川	定員適正化計画を上回る削減努力を評価する。
		新川	一部着手済みであるが、部分的な成果にとどまっている。

マニフェスト項目		「しがらみ公共工事」を禁止します	
進捗状況		「入札制度改革アクションプラン」を策定し、実施しています。	
		政治倫理条例制定に向けて、(仮称)政治倫理条例策定委員会の委員の候補者を検討すると共に、先行する他都市の状況の情報収集などを行いました。また、過去の談合事件を受け、平成22年7月に「奈良市入札制度等改革検討委員会」を設置、平成23年4月には「入札制度改革アクションプラン」を策定し、総合評価落札方式や低入札価格調査制度の導入、入札監視委員会の設置・機能充実、不良・不適格業者の排除等に取り組んでいます。	
		【担当課】 文書法制課・契約課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	政治倫理条例の事例検討の段階であると思う。(澤井)	
	全評価者分	澤井	政治倫理条例の事例検討の段階であると思う。
		中川	「入札監視委員会」が設置されたことは大いに評価する。
		新川	検討委員会の設置準備段階にとどまる。

マニフェスト項目		職員養成塾を開きます	
進捗状況		平成22年度から職員養成塾を実施、資質向上に取り組んでいます。	
		原則月2回、平日の就業時間後に、学識経験者や他の自治体職員、各分野のリーダー等を講師として招き、自ら学ぼうという意欲のある職員による勉強会を行っています。「分権時代の自治体職員のあり方」といった自治体職員としての業務に直結したものをはじめ、多彩なメニューを設定すると共に、うち2回は市民公開講座としても開催しました。	
		【担当課】 人事課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	職員能力の養成が期待できるプログラムとなっているのか、検証が必要。(新川)	
	全評価者分	澤井	完全自主参加でこの程度なら順調であると思う。
		中川	職員養成塾の開催努力は高く評価するが、受講者がまだ少ないように思う。
		新川	職員能力の養成が期待できるプログラムとなっているのか、検証が必要。

マニフェスト項目		外部の人材を活用します	
進捗状況		職務経験者採用等を実施、豊かなキャリアを持つ人材を確保しています。	
		民間企業などでの経験を通じたさまざまな職務能力を備えた人材を確保するため、職務経験者採用試験を実施し、平成23年度に24人の社会人経験者を採用しました。また、警察や自衛隊出身者の採用も行い、法令遵守、災害対策等に経験を活かしています。人事評価への外部視点の導入については現在検討段階です。	
		【担当課】 人事課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	民間からや他の公務からの専門性を持った職員の中途採用は、なお進めるべきである。(澤井)	
	全評価者分	澤井	民間からや他の公務からの専門性を持った職員の中途採用は、なお進めるべきである。
		中川	社会人経験者枠の導入は、内向化、固定化しがちな行政文化を活性化させる。
		新川	外部人材の登用が始まっているが、外部視点導入などはこれからの段階にある。



マニフェスト項目	各部長と、マニフェストを結びます		
進捗状況	平成22年度から「部長マニフェスト」を、進捗状況等も含めて公開しています。		
	平成22年度から年度ごとに「部長マニフェスト」を作成し、中間(9月末)での進捗状況と年度末での達成状況と共に市ホームページ等で公開しています。平成22年度に掲げた各事業の目標について「達成」「ほぼ達成」としたものは、全事業の約75%となっています。		
	【担当課】 総合政策課		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	部長級の目標達成、評価を制度として導入したことは前進である。(中川)	
	全評価者分	澤井	ホームページから市民が見ることができるのは良い。
		中川	部長級の目標達成、評価を制度として導入したことは前進である。
		新川	市長と部長間とのマニフェストが結ばれている。

## 生活(くらし)の不安ゼロ

マニフェスト項目	助産師・保健師を、身近に置きます		
進捗状況	助産師や保健師が相談に応じる「妊産婦・乳幼児健康相談」を、平成22年度から実施しています。		
	助産師や保健師が妊産婦の生活・母乳育児・子育てに関する悩みや乳幼児の発達・発育相談に応じる「妊産婦・乳幼児健康相談」を、平成22年度から実施しています。2年間で西部会館では612件、公民館巡回相談では1,501件、保健所(平成22年度は市役所)、都祁保健センター、月ヶ瀬行政センターでは1,278件の相談に対応しました。		
	【担当課】 健康増進課		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	7月末現在での比較で、平成23年度の相談件数が平成22年度より大幅に増えている。(澤井)	
	全評価者分	澤井	7月末現在での比較で、平成23年度の相談件数が平成22年度より大幅に増えている。
		中川	相談事業が実施されたことを評価する。
		新川	相談事業を実施することはできた。

マニフェスト項目	2年以内に、保育所待機児童をゼロにします		
進捗状況	2年間で保育所入所定員を252人増やしました。		
	速やかな待機児童解消のため、平成23年4月以降、既設の民間保育園2園において増改築等を行ったことで72人、また90人定員の新設園(民間)を2園開設することにより180人、合計252人分の定員増を実現しました。病児保育については市立奈良病院の敷地内で平成24年4月に開設予定、延長保育についても現在試行している4園に加え、10月から3園の試行実施に向けて検討中です。		
	【担当課】 保育課・子ども政策課		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	保育所の定数は増やせているが、なお待機児童の解消には至っていないようである。(澤井)	
	全評価者分	澤井	保育所の定数は増やせているが、なお待機児童の解消には至っていないようである。
		中川	待機児童の減少を評価し、病児保育、延長保育の取組に期待する。
		新川	待機児童ゼロや、多様な保育サービスは一部ではあるが実現されつつある。

マニフェスト項目	医療費補助の対象を、中学生まで広げます		
進捗状況	中学生まで対象を拡大した「子ども医療費助成」を始めました。		
	就学前の乳幼児を対象とする乳幼児医療費助成を、通院は小学校6年生まで、入院は中学校3年生まで拡大する「子ども医療費助成」に改め、新制度としてスタートしました。財政的な制約があるため、拡大実施する分については一定の自己負担を求めることとし、また中学生については「入院」のみに限定することとしました。		
	【担当課】 福祉医療課		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	一部を除いて医療費補助制度を拡充することができた。(新川)	
	全評価者分	澤井	中学生が入院まで、また拡大分については利用者負担が付いていることから「更なる努力」とした。
		中川	小学生、中学生(入院のみ)への医療費助成拡大の今後に注目する。
		新川	一部を除いて医療費補助制度を拡充することができた。

マニフェスト項目		4年以内に医師と看護師を50人増やします	
進捗状況		医師24人、看護職28人、合計52人の人員増を実現しました。	
		市立奈良病院における医師、看護職数は、平成21年4月1日と比べ、平成23年4月1日では医師24人増(109人)、看護職28人増(241人)、合計52人の増となりました。今後は、新病院の完成(建替)に伴い更なる看護師不足が懸念されるため、平成25年度には看護専門学校設置を予定するなど、引き続き継続的な看護師の確保に努めます。	
		【担当課】 病院事業課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	医療人材不足の中で、医師・看護師の増員達成を評価する。(中川)	
	全評価者分	澤井	医師と看護師の目標数は確保できているようだが、さらに安定した人材確保について努力が必要である。
		中川	医療人材不足の中で、医師・看護師の増員達成を評価する。
		新川	医師数・看護師数という量的目標は達成している。

マニフェスト項目		ずっとこの街で。安心介護の街にします	
進捗状況		小規模多機能型居宅介護施設の開所が進んでいます。	
		小規模多機能型居宅介護施設は、市内11の圏域のうち、平成22年度に1施設、平成23年度は8月初旬に1施設が開所しており、年度末には更に5施設が開所予定となっています。	
		【担当課】 介護福祉課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	11圏域中7圏域での取組は、順調と考える。(中川)	
	全評価者分	澤井	小規模多機能施設設置の次の目標は「地域包括ケア」の確立であるので、まだ途中のようである。
		中川	11圏域中7圏域での取組は、順調と考える。
		新川	小規模多機能型居宅介護施設の開所が順調に進んでいる。

マニフェスト項目		中学校でも、地産給食を実施します	
進捗状況		奈良市立中学校給食導入検討委員会において、奈良市の実情に即した実施方法を検討しています。	
		平成23年5月20日に第1回奈良市立中学校給食導入検討委員会を開催、以後、奈良市の実態に即した安全・安心かつ費用面でも継続的な給食方式を慎重に検討していただいています。	
		【担当課】 保健給食課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	導入検討に時間を要している。(新川)	
	全評価者分	澤井	「中学校給食導入検討委員会」の設置で一步を踏み出しと評価する。
		中川	今後の検討経過を見守りたい。
		新川	導入検討に時間を要している。

マニフェスト項目		地域で決める「学校予算」、はじめます	
進捗状況		平成22年度から「地域で決める学校予算」事業に、地域と共に取り組んでいます。	
		平成22年度は、各中学校区を単位に取り組む21事業、各学校園を中心に取り組む128事業の合わせて149事業を実施しました。平成23年度は、中学校区を単位に取り組む22事業、各学校園を中心に取り組む108事業の合わせて130事業が計画に基づいて実施されています。	
		【担当課】 地域教育課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	前年度の市長評価は「達成済み」であるが、量的評価だけではなく、質的な内容と今後の進展が大切。(中川)	
	全評価者分	澤井	地域教育協議会が大きな役割を担っているようだが、これをコミュニティ・スクールに発展させたい。
		中川	前年度の市長評価は「達成済み」であるが、量的評価だけではなく、質的な内容と今後の進展が大切。
		新川	地域要望に沿った学校予算制度が実施されている。

マニフェスト項目	小学校のすべての学年を、30人学級にします		
進捗状況	小学校3年生までが「30人学級」、小学校4年生が「30人程度学級」になりました。		
	子どもたちへのより細やかな指導を行うことを目的に、平成22年度から小学校3年生でも「30人学級」を導入しました。また、高学年では人数の多い集団でのコミュニケーション能力の発達が期待されることから、平成23年度から、小学校4年生では「30人程度学級」として、1クラス最大33人を上限とする学級編制を実施しました。		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	小学校4年生に30人程度学級を拡大することができた。(新川)	
	全評価者分	澤井	30人学級について、4年生以上についてもその方向だがその可能性を探る段階であろう。
		中川	30人学級を目標とした取り組みを評価する。
		新川	小学校4年生に30人程度学級を拡大することができた。

## 観光の渋滞ゼロ

マニフェスト項目	市内公共交通機関の1割を、エコ化します		
進捗状況	タクシーのエコ化(電気自動車化)に対する補助を進めています。		
	平成22年度に市内の各タクシー事業者に対しハイブリッドタクシー導入意向の有無について聞き取り調査や働きかけなどを行いました。導入には至りませんでした。平成23年度も引き続きタクシー事業者に対して低公害車導入について働きかけ、1社が電気自動車タクシー1台を秋頃導入する予定であることを確認できましたので、現在補助金交付の準備を進めています。		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	検討段階にあり、未着手に近い。(新川)	
	全評価者分	澤井	電気自動車に対する補助が一部実現したことを評価。
		中川	バス・タクシー等への自治体による補助が妥当であるかどうかの検討も必要だと思う。
		新川	検討段階にあり、未着手に近い。

マニフェスト項目	土日・春秋の観光渋滞を解消するために、世界遺産ゾーンへの乗用車流入を規制する方法を早急に確立します		
進捗状況	土曜日及び雨天時においてもパークアンドライドを実施、レンタサイクルの利用者も増えました。		
	平成22年度からは土曜日及び雨天時においてもパークアンドライドを実施しています。平成22年度春季は732台、秋季は594台の利用がありました。駐車場利用者への無料レンタサイクルは、春秋あわせて、昨年度より585台多い12,006台の利用がありました。また、奈良中心市街地公共交通活性化協議会において観光に起因する渋滞緩和対策のための議論をしました。		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	パークアンドライドもレンタサイクルも一進一退。さらに研究と調査が必要。(澤井)	
	全評価者分	澤井	パークアンドライドもレンタサイクルも一進一退。さらに研究と調査が必要。
		中川	実績が自動車、自転車ともに減少傾向であることを、どう評価するかが課題。
		新川	乗用車の流入規制については、見通しが立っていない。

マニフェスト項目	放置自転車を無くします		
進捗状況	近鉄大和西大寺駅前に駐輪場を増設、他の主要駅については、新設・増設に向け検討中です。		
	平成21年度に近鉄大和西大寺駅前に383台分の駐輪場を増設しました。一方、近鉄奈良駅前での自転車駐車場の新設については、実現の目途が立たず、現在、候補地の検討を行うと共に、既設の中筋自転車駐車場の駐輪方法を見直し、収容台数を増加できないか検討をしています。		
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	駅前駐輪場整備は必ずしも順調ではなく、それ以外の自転車利用促進策を具体化する必要がある。(新川)	
	全評価者分	澤井	駐輪場の確保は西大寺駅前増設から進展していない。
		中川	個別の努力を評価するが、放置自転車の総量は依然として減っていないのではないかと。
		新川	駅前駐輪場整備は必ずしも順調ではなく、それ以外の自転車利用促進策を具体化する必要がある。

マニフェスト項目		歴史的な景観を守るために、奈良町の無電線化に取り組みます	
進捗状況		「奈良町周辺の無電線化整備に向けた意見交換会」を開催しています。	
		奈良町周辺は道路が狭く、地下埋設物も多いため、電線類の美化化や軒下配線等による無電線化等の構想・計画を策定し、整備計画案の作成を行いました。平成23年度は、4月27日の「奈良町周辺の無電線化整備に向けた意見交換会」に引き続き、今後第2回意見交換会の開催に向けて自治会との調整を行います。	
		【担当課】 道路建設課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	住民合意を大前提に、無電線化に向けて議論を積み重ねる段階のようである。(澤井)	
	全評価者分	澤井	住民合意を大前提に、無電線化に向けて議論を積み重ねる段階のようである。
		中川	奈良町の無電線化に向けた今後の努力に期待する。
		新川	整備計画案を策定し、地元意見交換を進めている段階にとどまっている。
マニフェスト項目		家庭用ソーラーパネル設置を補助します	
進捗状況		「奈良市家庭用ソーラーパネル設置補助制度」を始めました。	
		平成22年度は予想を大きく上回る応募があったため、9月に補正予算を組み、前期・後期あわせて150件の家庭用ソーラーパネル設置補助を行うことができました。平成23年度の補助件数については、平成22年度と同様に、前期・後期あわせて150件を予定しています。	
		【担当課】 環境政策課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	当面の目標は達成しており、今後はその充実が望まれる。(新川)	
	全評価者分	澤井	平成22年度は25件に対して合計150件。3.11の後はもっと伸びる可能性があるのでは。
		中川	当初目標を実績として上回っており、達成したと言える。
		新川	当面の目標は達成しており、今後はその充実が望まれる。
マニフェスト項目		ゴミのない商店街にします	
進捗状況		「ゴミのきれいな排出」により、商店街の美観維持を始めました。	
		平成22年度は、奈良市中心市街地活性化研究会において、きれいな形でゴミを搬出することが決定され、モデルケースとして平成22年11月から「東向商店街」及び「小西通商店街」で統一したゴミ容器を導入し、商店街が購入するための費用の一部を市が助成しました。	
		【担当課】 商工労政課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	商店街の協力が得られつつあり、活動が進展している。(新川)	
	全評価者分	澤井	近鉄奈良駅からJR奈良駅までの回遊路を統一していくことも必要。
		中川	両商店街における取組の今後に期待する。
		新川	商店街の協力が得られつつあり、活動が進展している。
マニフェスト項目		街の商い繁盛プロジェクト、はじめます	
進捗状況		「奈良まちなか市場」の開催、「ミニ直売所」の開設をしています。	
		平成22年度に「奈良まちなか市場」を3回(第1回:奈良の地酒と奈良漬、第2回:月ヶ瀬・都祁の農産物等、第3回:奈良のスイーツ)開催しました。平成23年度は、計5回予定しています。「ミニ直売所」については、平成22年度は市内6箇所に開設、平成23年度は新たに1箇所開設し、地産地消に取り組んでいます。	
		【担当課】 商工労政課・農林課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	これまでの取組の成果評価と今後の取組をつなぐことが必要と考える。(中川)	
	全評価者分	澤井	奈良まちなか市場、ミニ直売所とも立ち上がりはそこそこ。
		中川	これまでの取組の成果評価と今後の取組をつなぐことが必要と考える。
		新川	イベントは実施しているが、客観的に消費を街中でという目的を達成しているとは言えない。



マニフェスト項目		「奈良版1%条例」を制定します	
進捗状況		「(仮称)奈良市市民が選ぶ1%支援制度」は白紙に、新たな制度を検討します。	
		市民の皆さん自らが税の使途を決められる仕組みとして、個人市民税の1%相当額を自分の選んだ市民公益活動団体に支援できる制度として議会に提案しましたが、平成22年3月議会、平成23年3月議会ともに理解を得ることができず、実施が困難な状況となりました。今後は計画を一旦白紙に戻し、新たな公益活動支援策を検討します。	
		【担当課】 協働推進課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	新たな枠組みで検討すべき。(新川)	
	全評価者分	澤井	× 1%条例によるNPO等の支援策にはいろいろな意見があるようだ。
		中川	× 来年度に向けた取組に入るには、市議会の意見と市民公益活動推進会議との意見交流が必要ではないか。
		新川	× 新たな枠組みで検討すべき。
マニフェスト項目		空き家をなくし、次世代につなぎます	
進捗状況		「ならまち町家バンク」を設立しました。	
		ならまちの空き家の持ち主と借りたい人をつなぎ、町家を観光資源等に利活用する「ならまち町家バンク」を設立し、ならまち振興財団への委託により運営を開始しています。現在、ならまち振興財団のホームページ等で町家の登録を呼びかけており、平成23年7月末現在で3件が登録準備中です。	
		【担当課】 観光振興課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	町家バンクは立ち上がったが、活動はこれから。(澤井)	
	全評価者分	澤井	町家バンクは立ち上がったが、活動はこれから。
		中川	町家バンクの発想は良いが、それを広くアピールする仕組みが必要では。
		新川	着手したが目標達成にはほど遠い状況にある。
マニフェスト項目		コミュニティビジネスを支援します	
進捗状況		奈良市コミュニティビジネス検討委員会を開催し、支援策などを検討中です。	
		「奈良市コミュニティビジネス検討委員会」を4回開催、コミュニティビジネス支援策やコミュニティビジネス事業者等に対する実態調査・ヒアリング調査を通して、市としての具体的な支援策を検討しています。	
		【担当課】 商工労政課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	事前の検討が行われている段階にある。(新川)	
	全評価者分	澤井	奈良市コミュニティビジネス検討委員会で調査、研究中。
		中川	高齢化、弱体化するコミュニティ再創造のためにも必要な政策と考える。
		新川	事前の検討が行われている段階にある。
マニフェスト項目		世界遺産大学を開講します	
進捗状況		名称を「奈良ひとまち大学」として、平成22年度から開講しています。	
		「(仮称)世界遺産大学」の名称を「奈良ひとまち大学」に決定し、平成22年9月5日以後、平成23年2月末までに延べ21講座を開講し、620人の参加がありました。平成23年度は6月末までで9講座を開講し、133人の参加がありました。昨年度よりも若い世代の参加者も増えてきており、定住や地域活性化へつながることが期待されます。	
		【担当課】 地域教育課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	学びの蓄積と交流を図ることが今後の課題。(澤井)	
	全評価者分	澤井	学びの蓄積と交流を図ることが今後の課題。
		中川	「奈良ひとまち大学」開校以後順調に推移しているが、以後は、そのカリキュラムが問われていく。
		新川	学びの場は開講されているが、その成果発揮ははまだ途上にある。

マニフェスト項目		市民による自治を支援します	
進捗状況		マニフェスト事業、大学連携など、各施策において「市民による自治」の支援に努めています。	
		地域と学校園が連携して特色ある教育活動を推進するための「地域で決める学校予算」事業や「ならまち町家バンク」の設立、帝塚山大学との新たな協定の締結など、地域、大学、商店街等との協働による事業を行っています。また、東日本大震災の被災地支援についても、市民の皆さんや各種団体との連携によりさまざまな取組を行っています。	
		【担当課】（集約）総合政策課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	個別施策の取組は高く評価するが、総合的な地域コミュニティ政策に遅れを感じる。（中川）	
	全評価者分	澤井	個々の施策は緒に就いたようにも見えるが、なお検証が必要だと思う。
		中川	個別施策の取組は高く評価するが、総合的な地域コミュニティ政策に遅れを感じる。
		新川	順調に進展しているものもあるが、いまだ成果が出ていないものも残されている。
マニフェスト項目		「観光産業創業支援ファンド」を設立します	
進捗状況		観光産業の新規創業支援のための基礎資料となる「奈良市観光戦略基礎調査」の準備中です。	
		観光産業の実態や経済波及効果を把握する「奈良市観光戦略基礎調査」を実施します。現在プロポーザル方式により受託業者を選定中です。	
		【担当課】 観光戦略課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	国際文化観光都市奈良の重要政策として、当該調査は重要である。（中川）	
	全評価者分	澤井	現在、基礎調査の準備段階と判断する。
		中川	国際文化観光都市奈良の重要政策として、当該調査は重要である。
		新川	× 2010年度より実施となっているが、実現されていない。
マニフェスト項目		「奈良市第4次総合計画」（2011年～20年）を、市民参加で作ります	
進捗状況		平成23年6月議会において、基本構想は原案どおり可決、基本計画は一部修正のうえ可決されました。	
		公募市民からなる「奈良市まちづくり市民会議」からの提案書を基に、有識者で構成する「奈良市総合計画審議会」で更なる審議を行い、パブリックコメントなどを経て平成22年9月議会に議案を提出しました。しかし、訂正が必要な箇所が多数見つかる等したため、12月議会において一旦撤回、改めて審議を行った後、平成23年1月臨時議会に再度提出しましたが否決となりました。内容を再検討し改めて提出した6月議会において、基本構想は原案どおり可決、基本計画は一部修正のうえ可決されました。	
		【担当課】 総合政策課	
評価者コメント	しみんだより掲載コメント	曲折はあったが、議会の理解も一応得られたものと評価する。（澤井）	
	全評価者分	澤井	曲折はあったが、議会の理解も一応得られたものと評価する。
		中川	今後の計画行政の基礎となることを期待する。
		新川	議会議決は遅れたが、計画を策定できた。